

富山市名誉市民

(推戴年月日順)

	推戴年月日	フリガナ 氏名	生年月日 (没年月日)	功 績
1	昭和32年11月3日	 ヤマダ ヨシオ 山田 孝雄	明治6年5月10日 ～ 昭和33年11月20日	独学による文法研究で、大著「日本文法論」を完成するなど、我が国の国語学の権威として、学界の発展に大きく貢献。昭和32年文化勲章受章。
2	昭和36年3月29日	 クロダ ゼンロウ 黒田 善太郎	明治12年2月7日 ～ 昭和41年3月27日	コクヨ(株)の創設者として、日本経済の発展に尽力するとともに、深い郷土愛から富山大学の講堂や郷土の学校に多額の寄付をするなど、教育文化の発展に貢献。
3	昭和36年3月29日	 ババ ハル 馬場 はる	明治19年2月22日 ～ 昭和46年5月20日	亡夫の遺業である海運業等の事業発展に尽くすとともに、その遺志を受け継ぎ、旧制富山高校の創設に多額の寄付をするなど、幾多の教育事業、公共事業の発展に貢献。
4	昭和40年12月18日	 ナカタ セイペイ 中田 清兵衛	明治9年9月26日 ～ 昭和45年5月26日	(株)北陸銀行の創設者並びに初代頭取として、永年にわたり、産業経済の振興、発展に尽力するとともに、郷土の教育、文化の発展に貢献。
5	昭和45年3月16日	 イムラ コウキ 井村 荒喜	明治22年11月3日 ～ 昭和46年5月10日	(株)不二越の創設者として、日本経済の発展に尽力するとともに、学校や病院を設立するなど、郷土の教育、福祉の発展に貢献。
6	昭和49年5月10日	 ウチノ シンジ 内野 信次	明治35年9月3日 ～ 昭和53年8月28日	昭和22年4月から7期27年間、旧大沢野町長として、卓越した識見と行政手腕をもって旧大沢野町の礎を築くなど、地方自治の振興発展に大きく貢献。

富山市名誉市民

(推戴年月日順)

	推戴年月日	フガナ 氏名	生年月日 (没年月日)	功 績
7	昭和54年11月3日	 サエキ ムネシ 佐伯 宗義	明治27年2月28日 ～ 昭和56年8月4日	富山地方鉄道(株)の創設者として、県内の交通機関の整備促進や観光開発に尽力するとともに、衆議院議員として国政の発展と地方自治の進展に貢献。
8	昭和54年11月3日	 オシマ フミオ 大島 文雄	明治35年4月27日 ～ 平成3年9月5日	旧制富山高校や富山大学を通じて、国文学の研究、殊に万葉集の研究に大きな足跡を残すとともに、県内諸学校の校歌を数多く作詞するなど、青少年の情操涵養に貢献。
9	昭和59年12月24日	 トネガワ ススム 利根川 進	昭和14年9月5日 ～	昭和22年2月から昭和27年7月まで、旧大沢野町に在住。多様な抗体を生成する遺伝的原理を解明し、その功績により、昭和62年12月2日にノーベル生理学・医学賞を受賞。
10	昭和60年11月9日	 カワミ キイチ 河上 喜一	明治31年11月19日 ～ 平成13年12月5日	旧婦中町助役、町議会議長等を歴任し、地方自治の振興に尽力する一方、善行児童生徒表彰基金や社会福祉センター施設基金に多額の寄附をするなど、町の発展に大きく貢献。
11	平成3年2月24日	 アサナ ゲンジュウ 浅名 源重	大正10年12月17日 ～ 平成10年5月15日	昭和33年12月から8期32年間、旧山田村長として、卓越した行政手腕と行動力をもって、過疎からの脱却、活力ある村づくりに尽力するなど、地方自治の振興発展に大きく貢献。
12	平成15年3月2日	 タナカ コウイチ 田中 耕一	昭和34年8月3日 ～	タンパク質等の生体高分子の同定及び構造解析のための画期的な手法(脱離イオン化法)を開発し、その功績により平成14年12月10日にノーベル化学賞を受賞するなど、医療・医薬分野の発展に大きく貢献。平成14年文化勲章を受章。

富山市名誉市民

(推戴年月日順)

	推戴年月日	フリガナ 氏名	生年月日 (没年月日)	功 績
13	平成27年7月12日	 ナカオ テツオ 中尾 哲雄	昭和11年4月2日 ～	(株)インテックの役職員として、わが国の情報化の進展や地元産業の振興発展に尽力するとともに、(社)テレコムサービス協会会長等としてインターネット上の有害情報対策の推進、富山経済同友会の課外授業講師派遣制度の創設など、教育の振興、青少年の健全育成に大きく貢献。
14	平成28年2月28日	 カジタ アキ 梶田 隆章	昭和34年3月9日 ～	「スーパーカミオカンデ」での観測により、ニュートリノが質量を持つことを示すニュートリノ振動を世界で初めて発見するなど、素粒子物理学の進展に大きく貢献。その功績により平成27年12月10日にノーベル物理学賞を受賞。同年文化勲章受章。平成9年に自宅を富山市に構える。
15	平成31年3月23日	 ホンジョ タスク 本庶 佑	昭和17年1月27日 ～	免疫反応の抑制に作用するタンパク質「PD-1」を発見し、その発見が新たながん治療薬の実用化につながるなど、がん免疫療法の発展に大きく貢献。この功績により平成30年12月10日にノーベル生理学・医学賞を受賞。平成25年文化勲章受章。